

口頭試験：平成26年12月〇日

会 場：フォーラムエイト

時 間：14時40分～15時00分

試験官A：コンサルタントの部長？(五十代半ば)

試験官B：公務員の管理職？(四十代)

【Q1】

試験官A：『業務経歴を述べてください』

【Q2】

試験官A：『受験動機を述べてください』

【Q3】

試験官A：『業務経歴票(4業務)の中の〇〇業務について、簡単に、業務概要・課題・解決策を述べてください』

\*指定された〇〇業務が、詳細業務内容と[同種業務]であったのが意外でした

試験官A：『業務経歴票(4業務)の中で、最近携わった業務について、簡単に、業務概要・課題・解決策を述べてください』

\*Q3の趣旨は、管理職である私に対して、[本当にあなたが関わった業務なのか?]  
という問い方であったように思いました

【Q4】

試験官A：『〇〇さんの現在の役職は〇〇で、指導的立場と思いますが、各業務を遂行する際の具体的な役割を教えてください』

\*これはパターンのように、受験生の役職を当てはめて、質問しているようでした

\*ここで試験開始から約10分経過

【Q5】

試験官A：『(8月の)筆記試験の選択科目Ⅲについて、[調査・設計・施工の各段階について述べよ]とあったと思いますが、[施工]に関する記述が少ないですね。何か、追加・補足することは、ありますか?』

回答：『8月の筆記試験の際には、広義の品質管理としての視点に欠けた解答になりました。試験後に、設問の品質管理について再度勉強をし、狭義の品質管理として、施工時の地盤構造物自体の品質に対する管理、広義の品質管理として、国民から要求される安全安心という視点の品質管理があることを学びました』

『また、狭義の品質管理に関する補足としては、施工や維持管理の段階で得られる

情報の動態観測や維持管理記録の役割が大きく、その得られた情報を、検討条件にフィードバックすることで、品質向上に結びつくことを補足いたします』

\*来年度に向けて資料収集中でしたが、その中から回答することができました。  
もし回答に窮していたら、大きな減点になったと思いました

#### 【Q6】

試験官B：『技術者の倫理について、いくつかの決まり事があると思いますが、その事について述べてください』

回答：『(?) 10個の方(基本綱領)でしょうか?』

\*口頭での問いかけは、やはり難しいと感じました。また、緊張感が解けすぎて言葉が悪かったため、最後まで適度な緊張感を保つべきだと反省しました。

試験官B：『3義務2責務の方です』

#### 【Q7】

試験官A：『CPDはどのようなことで、得られるのでしょうか?』

解答：『CPDは、講習会の受講、自己学習、講習会等の講師をすることにより、得ることができます』

(※“学会等への論文発表”を言い忘れました)

#### (感想)

- ① 大枠は、本HPに沿った内容の試験でした。本HPのみで試験準備ができると思います
- ② 回答の際は、シンプルに要点を伝えることが大切ですが、会話として成り立つように、若干の枝葉を付けたり、短く自己PRは盛り込みました
- ③ 全く回答できない場合を除いて、『分かりません』は最終手段とした方がよいと思います。筆記試験をクリアした上での口頭試験なので、何か一言は言えると思います。何か答えた後で、『もう少し詳しく勉強しておきます』と言った方がよい印象になると思います
- ④ 本HPの通り、質問の意図を取り違えないように、『〇〇についてのご質問でしょうか?』は、多用しました
- ⑤ 3度ほど、回答時間を指定されました。『簡単に。1分程度。2分程度』など。しかし、あまり時間にこだわると余計に緊張し、悪い回答になりそうだったので、指定時間を超えないことだけを考え、あとは割り切って短い時間で回答しました
- ⑥ 業務概要を述べる際は、試験官にイメージが伝わるように、簡単に場所と地形の説明から入りました
- ⑦ 試験官が面接時間を確認するために、こちらが回答している時に、室内の時計を見るため目線が何度か切れました。これは話し相手と目線が合わず、意外とつらかったです
- ⑧ 試験官Aに対する回答の際も、試験官AとBを交互に見るように気をつけました

以上です